

(C部門 ホームページ掲載用 講評)

コロナ禍にも負ける”、日々研鑽を積んで”本日を迎えた皆さん

今年は 全体のレベルが”大きくアップしたように感じられました。

曲の形式を理解すると、何が描かれているのかをきちんとイメージ

すると、それぞれの作品に道したテクニックで弾くことなど、概ね

クリアされていて、それぞれの先生方の御指導の成果でしょう。

幾つか気になる点と、強弱の幅が狭かった人、特に弱音が

弱音に足りていない人が多かった人が多かった。また、旋律と

伴奏のバランスの悪さ、ハーモニーの変化に対する反応の鈍さ、呼吸

の不足(特に開始時!)などが気になりました。さらに実力にあった

選曲も大切で、もっと弾けるはずなのに一面しか見えないような

曲選びをしていただけで、残念でした。皆さん今後の

期待します!